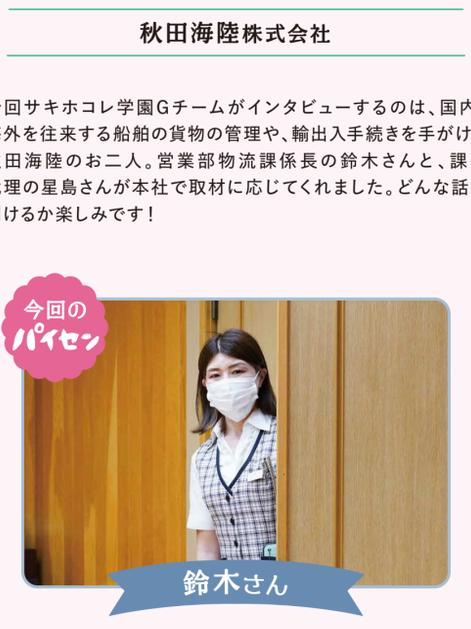


# サキホコレ学園

Gチームが行く!



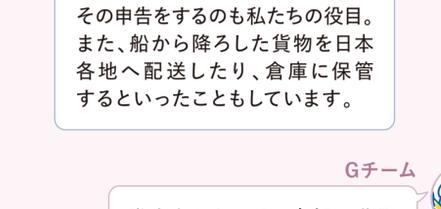
仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『パイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いちゃいました!



## 秋田海陸株式会社

今回サキホコレ学園Gチームがインタビューするのは、国内・海外を往来する船舶の貨物の管理や、輸出入手続きを手がける秋田海陸のお二人。営業部物流課係長の鈴木さんと、課長代理の星島さんが当社で取材に応じてくれました。どんな話が聞けるか楽しみです!

今回のパイセン



鈴木さん

Gチーム

本日はよろしくお願いします。



鈴木さん・星島さん

よろしくお願いします。

Gチーム

初めに、秋田海陸がどんな会社なのか教えてください。

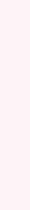


星島さん

簡単に言うと、船で輸入、輸出する貨物の取り扱いをする会社です。どのような貨物でも日本から輸出する場合、日本に輸入する場合は必ず通関する必要があるのですが、その申告をするのも私たちの役目。また、船から降ろした貨物を日本各地へ配送したり、倉庫に保管するといったこともしています。

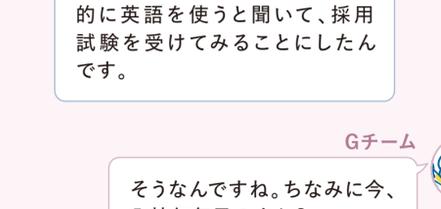
Gチーム

私たちににとっては未知の分野なのでいろいろ聞きたいのですが、どうして速度が遅い船を貿易に使うのでしょうか。飛行機ではダメですか?



星島さん

飛行機は輸送費が高額になるのと、あとは量の問題ですね。私たちがやりとりする日本と海外は、一度に大量の物資を輸出するので、飛行機だと重量オーバーになり運べないことが多いんです。



Gチーム

海の天気は変わりやすいと聞きますが、その影響で輸送スケジュールが変わってしまうことはありますか?



星島さん

よくあります。波が高かったり台風が来たりすると、確実にスケジュールに影響が出ます。予定が半日~1日ずれるといったことは、頻繁にありますね。

Gチーム

それは大変ですね。秋田港に届く貨物は、どの国からやって来るものが多いですか?

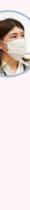
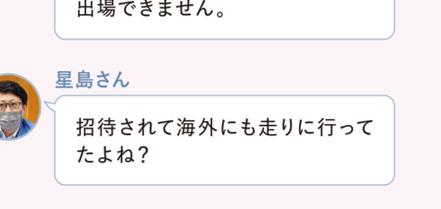


星島さん

どこが多いとかはあまりなくて、世界中から届きます。近年、韓国の港が世界のハブ港(中継地点)として発展を遂げていて、北米、東南アジア、ヨーロッパ、韓国を経由して日本に入ってくるようになっていっています。そうなると船を所有する会社は、韓国港を経由して日本の港を使いますよね。実際、秋田港で積み降ろしされる貨物の量も、どんどん増えているんですよ。

Gチーム

知らなかったです!ところで鈴木さんは、どうしてここで働こうと思ったのですか?



鈴木さん

大学を卒業して公務員を目指していた時期もあったのですが、昔から英語が好きだったので、英語を使える仕事はないかなという調べて。今の私と同じように当時の私も貿易関係は未知の分野でしたが、海外の貨物の出し手、受け取り手とのやり取りで日常的に英語を使うと聞いて、採用試験を受けてみることにしたんです。

Gチーム

そうなんです。ちなみに今、入社何年目ですか?



鈴木さん

17年目です。

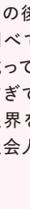
Gチーム

本当にピッタリの職場だったんですね!これまで何か大きな苦労はありましたか?



鈴木さん

貨物を税関に通す業務を行うには、通関士という国家資格を取らなければならないのですが、参考書を見てもなじみのない言葉だらけで……。先輩の通関業務を手伝ったり、会社負担で専門講座を受講したりしながら何とか合格することはできましたが、勉強が本当に大変でした。



星島さん

この会社で通関士の資格を持っているのは、鈴木と私を含めて9人。誰でも簡単に取れる資格じゃないんです。全国の合格率が15%と言えば、その難しさが伝わるでしょうか。

Gチーム

狭き門なんですね。



星島さん

鈴木は何があっても絶対にくじけない、強いメンタルの持ち主なのでやり遂げることができたんですよ。そしてそのメンタルの強さは、プライベートでも遺憾なく発揮されていくことになるんです。

Gチーム

聞きたいです。プライベートで何があったんですか?



鈴木さん

2022年の大阪国際女子マラソンに出場し、そこで自己ベストのタイムを出しました。

Gチーム

す、すごーい!その大会、誰でも出られる大会じゃないですよね??



鈴木さん

はい、自己ベストが大会が規定しているタイムをクリアしていないと出場できません。



星島さん

招待されて海外にも走りに行ってたよね?



鈴木さん

ええ、行きました。

Gチーム

もしかして、そっちが本業ですか?(笑)



鈴木さん

マラソンはあくまでプライベートな趣味です(笑)私は社会人になるまで何かのスポーツに夢中になったことがなく、走るのも最初はダイエットが目的だったんですが、それがだんだんと速さを追い求めるようになって。日々の練習の積み重ねが結果として表れるところにモチベーションを刺激され、競技として夢中になっていきました。

Gチーム

大会に出たり練習したりする時間が、苦労しないで取れる職場なのでしょうか。



鈴木さん

そうですね。終業は16時半で、残業は部署や季節によって違いますが、帰宅時間が19時を過ぎることはあまりありません。休みは日曜と祝日ですが、平日と土曜にも交代で取れる休みがあります。

Gチーム

その勤務体系だと、育児中の女性も働きやすそうです。



星島さん

当社は全社員の39%が女性という会社なので、勤務時間や休日以外にも、社員取得率100%の産休・育休をはじめとした「仕事と家庭を両立しやすい環境の整備」には特に力を入れています。働きやすさは、産休後の復職率100%という数字が示す通りです。また昨年からは働きやすさだけでなく、打ちがいの大きさも魅力として打ち出しているように、女性管理職12.5%という数字を大きくする取り組みを進めています。

Gチーム

すごいです!これからも女性活躍をどんどん推進してってください!本日はお忙しいところ、ありがとうございました!



その後、気になって大阪国際女子マラソンの鈴木さんの記録を調べてみたところ、走破タイム2:57:25としっかりリザルトが載っていました!趣味で走る人の出すタイムじゃないです。すごすぎです!難関の国家資格を突破し、プライベートでも自分の限界を突破し続けている鈴木さんのように、私もカッコいい社会人になりたいと思いました!